

# 造作出窓(現場作成出窓)の配置方法

文書管理番号:1216-02

# Q.質問

現場施工の造作出窓を配置したい。

造作出窓の壁(窓の上下部分)の高さを調節したい。

## A.回答

出窓は、プラン図で (出窓)から出窓の種類を選択して配置します。

既製品の出窓は、□(矩形出窓(部品))などの「(部品)」がついている出窓種類から選択して配置します。

現場施工で作成する造作出窓は、「(矩形出窓)などの「(部品)」がついていない現場作成出窓の出窓 種類から選択して配置します。

現場作成出窓は、奥行やデッドスペースのサイズなどの細かな設定ができ、出窓の壁の高さ(窓の上 下部分)も指定できます。



ここでは、現場作成出窓の (矩形出窓)の配置方法を説明します。

現場作成出窓の設定方法、配置方法は出窓の種類によって異なりますが、基本的な操作方法は同じで す。

📴 (全壁)で出窓を配置する壁を入力し、部屋を設定後の操作から説明します。

- ① (出窓)をクリックし、(年形出窓)をクリック
  - \* 現場作成出窓(矩形)の設定画面が表示されます。
  - \* 「配置」⇒「出窓」⇒「矩形出窓」をクリックしてもかまいません。
- ② 設定画面で各種設定を行い「OK」をクリック
  - \* 設定画面での各種設定項目については、P.3「現場作成出窓の各種設定について(矩形出窓)」 をご覧ください。
- ③ 出窓を配置する位置で起点 終点をクリック後、外側をクリック

\* 現場作成矩形出窓が配置されます。





現場作成出窓の各種設定について(矩形出窓)

現場作成出窓(矩形)	×
出幅(a) 340 mm	ОК
デッドスペース(b)0 mm	キャンセル
デッドスヘ°ース(c)0 mm	ヘルプ(H)
☑庇有り 20 /100	
●片流れ ○寄せ	
底形状	b c
○段有り 1 🐳 段	
厚み 100 mm	
引込幅 100 mm	日本
● 段無し	217-218
○斜め 100 /100	
●片流れ ○寄せ	
〇無し	⊻ 992118
○ スラブ付ぎ 100 mm	51ぎ遅い2枚 ~
<ul> <li>● 基礎付き</li> </ul>	☑ 雨戸付き
	鎧 ~
⊢ →R• 下 →R	
開口上部 200 mm	開山 F部 200 mm

● 和室

真壁の部屋に配置する際にチェックを入れます。出窓の内壁が真壁で配置されます。

● 出幅 (a)

出窓の出を入力します。



● デッドスペース(b)(c)

出窓の端のデッドスペースを設定します。0mmに設定した場合、デッドスペースは設置されません。



### 

「庇有り」にチェックを入れると、勾配及び形状(片流れ・寄せ)の指定ができ、設定した勾配 と形状の庇を出窓に配置します。

「庇有り」にチェックを入れない場合、庇は生成されません。出窓の壁は、当該階の屋根まで伸びます。当該階の屋根がない場合は、当該階の軒高まで伸びます。



- 底形状
  - ・ 段有り 指定した段数で、設定した厚み及び引込幅の段を生成します。
  - ・ 段無し 底形状は水平になります。
  - 斜め 指定した勾配で底形状を斜めにします。現場作成矩形出窓、現場作成コーナー出窓は、「片流れ」「寄せ」を選択できます。その他の現場作成出窓は、片流れになります。



<段有り 2 段>

く段無し>

<斜め 片流れ>

<斜め 寄せ>



無し 出窓の壁が建物の基礎上端まで下がります。
 【スラブ付き】出窓の壁の下に、指定した厚みでスラブを生成します。
 【基礎付き】出窓の壁の下に、建物と同じ基礎高で基礎を生成します。
 【無し】出窓の壁が建物の基礎上端まで下がりますが、スラブや基礎は付きません。



<スラブ付き>

<基礎付き>

<無し>

【参考】階層続きの出窓

上階下階に設置した現場作成出窓の設定により、階層続きの出窓を 表現できます。

下階の出窓は、出窓壁を上階まで伸ばすために「庇有り」のチェッ クを外します。上階の出窓は、出窓壁を下階まで伸ばすために底形 状を「無し」の「無し」に設定します。

 \* 上階の出窓の「庇有り」のチェックを外すと、出窓の壁は屋 根まで伸びます。
 下階の出窓の底形状を「無し」にすると、出窓の壁が基礎上

「「「「「」」」にすると、日本の主な



サッシ付き

「サッシ付き」にチェックを入れサッシ種類を選択すると、出窓と共に指定したサッシを出窓の 壁に配置します。出窓と共に配置されたサッシは、後から削除、再配置が可能です。 「サッシ付き」にチェックを入れずに配置した場合、出窓の壁のみ配置されます。



100 mm

200 mm

#### 雨戸付き

デッドスペースに「0」より大きな数値を入力すると、雨戸の有無を選択できます。チェックを 入れると、選択した種類の雨戸が出窓と共に配置されます。

上部・下部

窓(開口)の上下の壁の高さを入力します。 庇有りにチェックを入れない場合、出窓の壁は当該階の屋根または軒高まで伸びるため、開口上 部はグレー表示になり、設定はできません。

底形状で「無し」を選択した場合、出窓の壁は基礎まで伸びるため、開口下部はグレー表示にな り、設定はできません。

また、開口下部の壁には、あらかじめ150mmの高さをもたせています。開口下部の壁は設定し た数値に150mm加算した高さになります。



<開口上部 200mm/開口下部 200mm> <開口上部 50mm/開口下部 50mm>



CPU

【参考】出窓の壁とサッシの連動

建具部材指定を使用せずに出窓壁に入力したサッシは、高さ・詳細情報設定の画面で「出窓の連動」の有無を指定できます。

「出窓の連動」にチェックが入っている場合、サッシの高さにあわせて出窓の壁の高さも変わり ます。

建具名称 引き違い		
		面材•柄
上端高 <b>2000</b>	mm 呼称寸法(U)	<ul> <li>面材</li> <li>● サッシ ○ フラッシュ ○ 戸褄 ○ 障子</li> </ul>
開口高h 1100	mm 呼称寸法(T)	○ 樹脂 ○ ガラス ○ 襖
建具高H 1170	mm 🛛 出窓の連動	メーカー オリシ゛ナル 〜
建具幅		柄名 ザッシー ~
内法幅w 1650	mm 建具幅W 1690 mm	障子種類
欄間	枠形状	角出し 無し ~
□ 欄間の取付け	國方 〇 三方	窓区分 窓 🗸
□吊束	枠種類	
無目 0	mm       • 額縁 〇 クロス巻	
欄間 0	mm サッシ内外色	柄一覧(L)
	() 同位 () 別位	

- \* 建具部材指定が ON の場合でも、サッシ付きにして出窓と共に配置されるサッシは、部 材指定された建具として配置されません。
- \* 現場作成出窓を配置後、出窓の壁に建具部材指定を使用してサッシを配置した場合、「出 窓の連動」は表示されません。「出窓の連動」を有効にする場合は、 (物件概要)で 建具部材指定を OFF にしてからサッシを入力してください。